

Alluvio のネットワークパフォーマンス管理 (NPM) ポートフォリオで、ビジネスレジリエンスを構築

パンデミックに対応するためのリモートワークへの移行のような外部の課題や、停滞した予算でのパフォーマンス向上や拡大のような内部の目的など、際限ない課題や目的に対応するため、ネットワークは急速に進化しています。NetOps チームは、これらの課題に対して今まで以上に適応し、革新していく必要があります。これが、ビジネスレジリエンスを推進する要素です。国際標準化機構 (ISO) は、組織またはビジネスのレジリエンスを次のように定義しています。「組織がその目的を実現し、生き残り、成功できるように、変化する環境を受け入れて適応する能力。」

現代のハイブリッドネットワークは、内部および外部の課題に応じて急速に変化し続けています。この変化のペースはビジネスレジリエンスの基盤に圧力を与え、ハイブリッドネットワークの出現と SaaS の採用により、柔軟性レベルに関する要求が増大しました。IT チームは、運用のトランスフォーメーションを推進するよう常に圧力を受けています。これに失敗すると、収益の損失、顧客離れ、否定的なブランド評価につながり、外部および内部の課題に速やかに対処する競合他社に後れを取ることになります。さらに、より多くの企業が自社ビジネス進化の重要性に気づき始めています。Enterprise Strategy Group (ESG) による 2023 年度のテクノロジー費用に関する意識調査によると、調査対象 NetOps プロフェッショナルの 28% 以上が、サイバー攻撃に対する運用のレジリエンスの向上を 2023 年における上位の支出要因の 1 つに挙げています。運用のレジリエンスの向上は、カスタマーエクスペリエンスの向上 (32%)、データ分析 (30%)、自動化 (29%) のような支出要因に次ぐものでした。

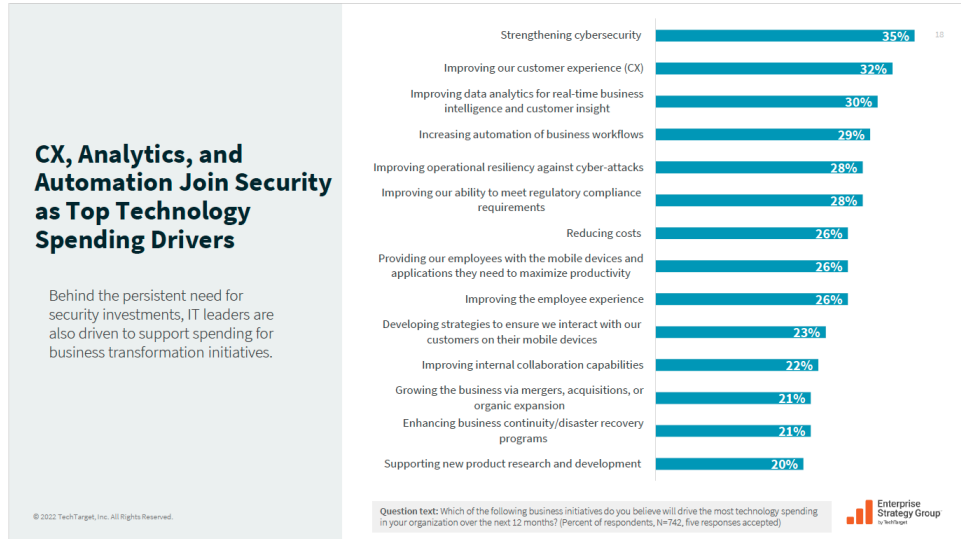


図 1 Enterprise Strategy Group (ESG) 2023 年度テクノロジー費用に関する意識調査

ハイブリッドの IT 環境における運用上の変化は、組織、産業、チームのニーズによって大きく異なります。この問題は、現代のネットワークが進化した一方で、いまだに進化前の IT インフラストラクチャに依存していることで悪化しています。しかしながら、より優れたビジネスレジリエンス構築のプロセスは、組織の形式や規模を問わずほぼ同じです。まず、ハイブリッドネットワークが直面する課題を特定する必要があります。次に、各懸念領域について取り組み、チームが課題の対処に採用できるソリューションや運用プロセスを特定すると同時に、ハイブリッドネットワークを向上する必要があります。このホワイトペーパーでは、現代のネットワークが直面する最も一般的な課題と、ネットワークにレジリエンスを構築するために組織が向上すべき 3 つの領域について説明します。

ハイブリッドネットワークの課題

一度にすべてをアップグレードしようとする多大な費用と混乱が生じることから、ほとんどのハイブリッドネットワークは、組織がネットワークテクノロジーを段階的にアップグレードした結果生まれたものです。ビジネスは、新しいネットワーキングテクノロジーを導入しながら、古いテクノロジーを徐々に廃止していくのがほとんどです。この段階的なアプローチは (当然ながら) 一般的ですが、多くの場合、回復性ではなく脆弱性を引き起こす課題がつきものです。

リモートワークへの移行に伴う可視性のギャップ

ネットワークのハイブリッド化は新しいことではありませんが、パンデミック中にリモートワークをサポートするため NetOps チームが移行を急いだため、大幅に増加しました。残念ながら、多くの場合、これはネットワーク可視化、コンプライアンス、セキュリティのギャップも生み出しました。例えば、オンプレミスの旧式テクノロジーには、クラウドベースのシステムとは異なるセキュリティ上の懸念事項があります。NetOps チームがこれに気付かなければ、攻撃者がセキュリティの脆弱性につけ込みやすくなります。

リソースに関する懸念

人的資源、時間、または資金の不足は、適切なネットワークの構築を困難にします。レジリエントなネットワークの構築となればなおさらです。この状況は業界全体の問題になっています。Enterprise Strategy Group (ESG) による最近の 2023 年度テクノロジー費用に関する意識調査報告書によると、IT プロフェッショナルの 54% が、デジタルトランスフォーメーションの取り組みの主な動機として運用の非効率性を挙げています。

このリソース不足は、NetOps チームにとって負担となるだけでなく、多くのハイブリッドネットワークを無防備にしてしまいます。適切なリソースの欠如により、チームがより戦略的に作業し、複雑なハイブリッドネットワーク (レジリエントなものならばなおさら) を維持するために必要な積極的な戦略を見つけることが困難になります。その結果、ますます複雑なネットワークに直面しながらもリソースが限られた多くの NetOps チームは、終わりのない鎮火作業のサイクルから抜け出すことができずにいます。

NPM: ビジネスレジリエンスの ベースライン

ハイブリッドネットワークにより優れたビジネスレジリエンスを構築するためにすべての組織が取るべき最初のステップは、堅牢な NPM ソリューションを導入することです。ネットワークパフォーマンス管理 (NPM) は、ハイブリッドネットワークの健全性と可用性の可視化、モニタリング、最適化、トラブルシューティング、レポートを行う積極的なアプローチです。このアプローチは、ハイブリッドネットワーク内に存在する問題領域を迅速に見つけて修正し、ネットワークがこれらの問題に対処して将来的に回避できるようにするため、チームが採用できるツールと運用プロセスの組み合わせを推奨します。ハイブリッドネットワークで NPM を適切に活用すると、内部と外部の課題に対処できると同時に、成長やパフォーマンスの目標も達成できます。しかし、NetOps チームにとって、よくある落とし穴は、インサイトのスピードとインサイトの深さに対する重点の置き方が不適切なことです。処理が速くても徹底しているとは限らず、ネットワークに影響を与える可能性のある重要な詳細を見逃すことがよくあります。

数値で見るハイブリッドネットワークの増加:

- リモート/拠点オフィスが増加している – 世界中にある組織の35%が25~100のリモート/拠点を設置。*
- マルチクラウドの使用率が上昇している – 組織の40%が3つ以上のパブリッククラウドプロバイダーを利用。**
- パンデミック後のネットワークの複雑性 – ITプロフェッショナルの33%が、自社ネットワーク環境はパンデミック前よりも複雑になっていると回答。***

Enterprise Strategy Group (ESG) によるエンドツーエンドネットワークの可視性と管理の動向

* 世界中で運用しているリモートオフィス/拠点のおおよその数は? 今から 24 か月後にはいくつになっているか?

** 組織内で現在使用しているユニークなパブリッククラウドインフラストラクチャサービスプロバイダーのおおよその数は?

*** 一般に、2 年前と比べて組織のエンドツーエンドネットワーク環境はどれくらい複雑か?

ハイブリッドネットワーク内でビジネスレジリエンスを構築すべき領域

前述のように、レジリエントなネットワークは企業によって異なります。ただし、ハイブリッドネットワークを管理する NetOps チームに共通する懸念領域が 3 つあり、NPM はそれぞれにビジネスレジリエンスを構築する際に役立ちます。

パフォーマンス

あらゆるタイプのネットワークがデバイスの故障、高い帯域幅利用、DNS 問題に起因する共通のパフォーマンスの問題に苦勞する一方で、ハイブリッドネットワークには、ネットワークパフォーマンス管理と強化に関して独自の懸念事項があります。より優れたパフォーマンスのためにハイブリッドネットワークを最適化することは、ビジネスレジリエンスの重要な要素です。結局のところ、ネットワークパフォーマンスは現在の組織にとって必要不可欠なものなのです。ネットワークが機能しなければ、ビジネスも機能しません。パフォーマンスにレジリエンスを構築するということは、何が起ころとも会社は運用を継続できることを意味します。

ハイブリッドネットワークでパフォーマンスに影響する特徴的な懸念は何か、そして NPM がどのように役立つか見ていきましょう。

手探りでの運用

アプリケーション、サーバー、クラウドネイティブ環境への可視性が欠如している場合、未確認のセキュリティ脅威、アプリケーションの速度低下、その他のパフォーマンスの問題などのネットワークの問題に対して、NetOps チームが正しくトラブルシューティングを行うことができません。そして、インサイトが供給されるスピードと明確さが、迅速なアクションと大規模な障害との分かれ目となります。ハイブリッドネットワークでは、可視性の欠如は多くの場合インサイトの遅延が原因です。これは、インサイトが過剰に要約されて重要な詳細が欠けている、チームが反応するには遅すぎる、またはソースまたはツールがサイロ化されているために矛盾するデータや不完全なデータが提供される場合に起こります。EMA レポート「**ネットワークの観測性: ネットワーク運用に実用的な洞察を提供**」では、NetOps プロフェッショナルの 46%が、自社の NetOps ツールセットにおけるデータ関連の最も困難な課題の 1 つは個々のツール間でのデータの矛盾であると回答しました。

可視性が大事な理由:

- ITプロフェッショナルの**68%**が、ネットワーク環境において一元化された可視性が**非常に重要**であると述べています。*

* Enterprise Strategy Group (ESG)、エンドツーエンドネットワークの可視性と管理の動向

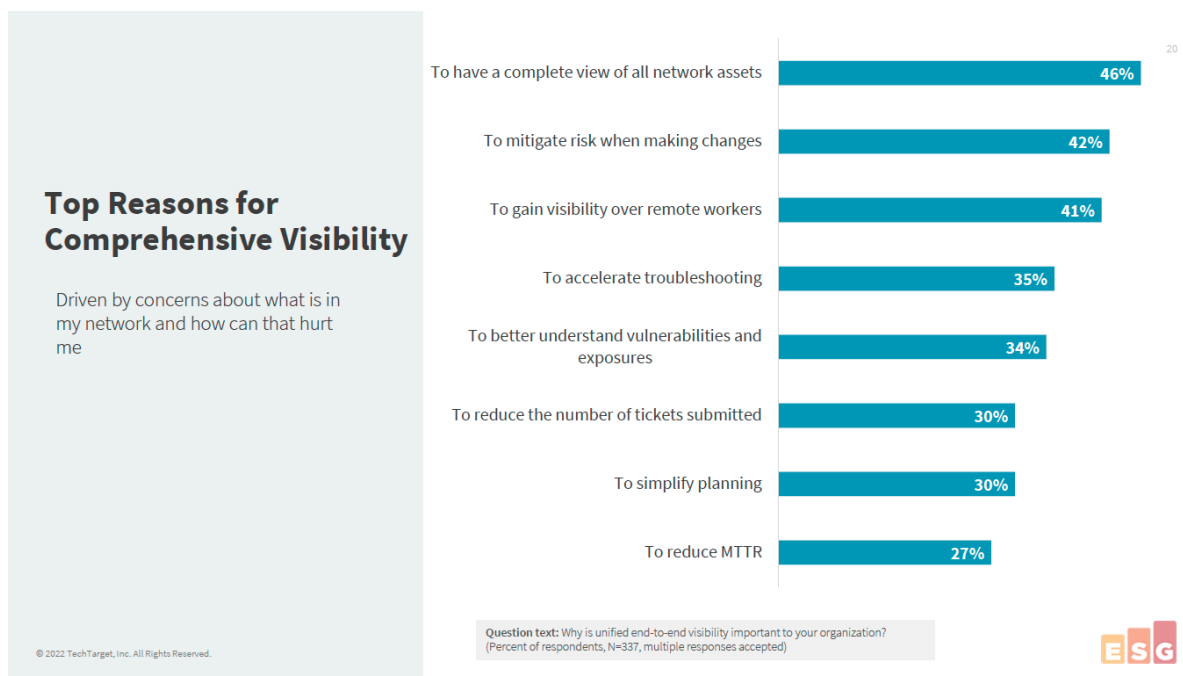


図 2 Enterprise Strategy Group (ESG)、エンドツーエンドネットワークの可視性と管理の動向

- 42%**が、包括的な可視性が変更を行う際にリスクの低減に役立つと考えています。
- 35%**が、包括的な可視性がトラブルシューティングを加速すると考えています。
- 34%**が、包括的な可視性がITチームにとって脆弱性と漏洩リスクを詳しく理解する助けになると考えています。

データの急激な増大

ハイブリッドネットワークはかつてない量のデータを生成して処理しています。Statista の報告によると、グローバルデータの総量はこの先 5 年間で 64.2 ゼタバイトから 180 ゼタバイトまで倍増すると予想されています。ハイブリッドネットワークの不十分な処理能力は、ネットワークの混雑、負担過剰のネットワークノード、**パケットの損失**につながりかねません。パケット損失は、ネットワークの中断、遅いサービス、ひいてはネットワーク接続の損失を引き起こす可能性があります。

パフォーマンスを満たす NPM

ハイブリッドネットワークパフォーマンスの最適化は、より優れたビジネスレジリエンスを構築するカギとなります。NPM ソリューションは NetOps チームに重要なデバイスマトリックス、ネットワークフローデータ、パケットデータへのアクセス能力を提供します。これにより、混乱を排除してネットワークの盲点に光を当て、問題を正確に診断していち早く対応できます。完全に忠実な NPM テレメトリーへのアクセスがない場合は、パフォーマンスの問題が見逃されたり、解決が遅すぎたりすることになります。理想的には、選択した NPM がハイブリッドネットワークのデータ生成および取り込みの増加に合わせて拡大できる必要があります。

コンプライアンス

ハイブリッドネットワークに関するコンプライアンスがどのようなものかは、業界によって異なります。例えば、政府、医療、金融サービスなど厳しく規制された産業には通常、より厳しいコンプライアンス要件があります。しかし、セキュリティと運用の基準の慎重な順守は、どのようなハイブリッドネットワークにおいてもある程度不可欠です。

ネットワークが内部と外部のコンプライアンス要件を満たさなければ、セキュリティのギャップを生み、罰金が科されるリスクを負います。一方、運用およびセキュリティの基準を満たすために積極的に管理されているハイブリッドネットワークは、ネットワーク中断のインシデントが発生した際でもコンプライアンスを維持でき、拡大でき、新しいテクノロジーを導入する間にも古いアプリケーション/サービスのレジリエンスを効果的に維持することができます。

ハイブリッドネットワークでコンプライアンスに苦勞する理由と、ビジネスレジリエンスにとっての意味

多くの場合、企業はコンプライアンスに苦勞しています。なぜなら、ハイブリッドネットワークのクラウドとオンプレミスのサービスがサードパーティベンダーによってサポートされているからです。異なるベンダーの存在は、監査証跡の作成、タイムリーなアップデートの実行、明確なデータガバナンス規則の設定、および内部と外部のコンプライアンス要件に忠実にその他のタスクを完了することを困難にします。この領域にレジリエンスがない企業は、ビジネスの中断、生産性の損失、ペナルティ、および評判失墜のリスクを負うこととなります。業界を問わず、企業はコンプライアンス違反の問題を解決するために平均数 100 万ドルを費やしています。

コンプライアンスを満たす NPM

組織は内部で監視を行い、コンプライアンスに関連する政府の規制に従います。このような内部と外部の基準は、ネットワークの重要なガイダンス、監視、構造を提供します。NPM 製品はネットワーク可視化を提供しますが、これらの製品において確実にコンプライアンスを実行できなければ、可視性ひいてはネットワークパフォーマンスに悪影響を与えます。可視性の欠如は、速度低下やシャットダウンのような数々の問題を引き起こします。

セキュリティ

ビジネスレジリエンスのコンセプトの中心にあるのは適応です。そして、ハイブリッドネットワークの進化するセキュリティニーズに適応していくのは困難である場合があります。標準的なネットワークとは対照的に、ハイブリッドネットワークのワークフローはオンプレミスのデータセンターとクラウド環境を組み合わせたもので、ユーザーはさまざまなデバイスや場所からアプリケーションにアクセスします。これらすべての要素と、これらを通過するデータを保護する必要があります。ネットワークのセキュリティを向上させ、より適応しやすくすることは、急速に進化する脅威の状況に有利に対応する上で役立ちます。潜在的な攻撃をよりうまく乗り切り、少ないダメージでより早く回復するだけでなく、他の攻撃をすべて回避できる可能性があります。

ハイブリッドネットワークの脆弱性

ハイブリッドネットワークが複雑であるために、ネットワーク攻撃に対してより脆弱になることがあります。ハイブリッドネットワークの一般的な機能であるクラウドベースのサービスには、安全でないアクセスコントロールポイントやセキュリティシステムの不適切な構成など、追加のセキュリティ上の懸念事項があります。脅威の状況が増加するにつれて、データ漏洩の可能性も増加します。実際、**ビジネスの 45%**が過去 12 か月間でクラウドベースのデータ漏洩を経験しています。データ漏洩とシステムの攻撃の犠牲は多大了。米国の平均的な組織は、**データ漏洩の影響に約 944 万ドル**を費やしています。漏洩を引き起こす要因がリモートワークである場合には、この数値は**平均 100 万ドル**増加し、これには否定的な顧客体験による収益の損失や法的責任のようなその他の影響は含まれていません。

セキュリティを満たす NPM

NPM ソリューションは、モニタリング、可視化、推奨事項のレポートを提供し、NetOps と SecOps のチームがセキュリティ侵害をより早く見つけて修正するのを支援します。これらの推奨事項はチームにフォレンジックデータも提供し、非常に複雑な環境でも先を見越して行動し、手遅れになる前に早急に脅威を食い止めるために必要な可視性を与えます。

Alluvio のネットワークパフォーマンス管理 (NPM) ポートフォリオで、ビジネスレジリエンスを構築

大企業は多くの場合、個別の NPM ツールをいくつか使用しています。これは費用がかかるだけでなく、コミュニケーションの課題も生みます (組織内で異なるチームが異なるツールを使用)。これは、チームがレジリエンスを構築する能力に影響を与えます。各チームが異なるデータセットを評価し、異なる問題やソリューションを特定し、サイロ内で運用するためです。

チームには、組織のハイブリッドネットワーク全体を通して整合性を保つデジタルエクスペリエンスを実現するために必要とされるパフォーマンス、コンプライアンス、セキュリティサポートを提供する、単一の相互運用可能なソリューションが必要です。

Alluvio の NPM ポートフォリオは、余分なテクノロジーを排除し、チーム間のコミュニケーションを向上する上で役立ちます。Alluvio の NPM ポートフォリオは [AppResponse](#)、[NetProfiler](#)、[NetIM](#)、および [Portal](#) を提供します。これらの製品が連携して、機敏な IT 環境を作り出し、新しいビジネス要件に対応し、迅速に拡大できるようにする同時に、インサイトを高速に提供して統合を強化することにより、パフォーマンスを向上させます。

Alluvio Appresponse

- パケットベースのネットワークとアプリケーション分析により、迅速なトラブルシューティングを実現。
- オンプレミスおよびプライベートやパブリックのクラウド環境でデプロイ可能。
- モジュールデザインで、意味のあるパフォーマンスデータやメトリックスを迅速に利用可能。
- 合理化されたトラブルシューティングのワークフローと忠実度の高いデータの分析により、数分で根本原因を診断可能。

Alluvio NetProfiler

- ハイブリッドネットワークトラフィックのエンドツーエンドの可視性を提供。
- トラフィック量、ユーザー、フロー、トラフィックの優先順位などのトラフィックデータへの迅速なアクセス。

Alluvio NetIM

- 分析を自動化し、リアルタイムのインフラストラクチャモニタリングを提供。
- ネットワークを総合的に把握し、盲点を排除。

Alluvio Portal

- チームがハイブリッドネットワークのパフォーマンスデータに容易にアクセスできるよう、一元化されたダッシュボードを作成。
- 複数のツールが矛盾するデータを生成する不満を排除し、チーム間のより良いコミュニケーション/コラボレーションを実現。

ネットワークの可視性とパフォーマンスを向上

組織は、オンプレミス、キャンパス、拠点またはクラウドを問わず、従業員の企業リソースへの接続に関する問題を報告することがよくあります。パフォーマンス管理は、ハイブリッドネットワークで従業員の接続を維持し、エンドユーザーのデジタルエクスペリエンスを向上する上でのカギとなります。ネットワークパフォーマンスは本質的に製品のパフォーマンスに関連します。リアルタイムの完全に忠実な可視性は、ビジネスに直接影響を与えるネットワークパフォーマンスの問題を特定して予防するために重要です。Alluvio™ポートフォリオは、以下の製品パフォーマンス改善点を含むように進化しました。

Alluvio™ AppResponse:

- 8,180アプライアンスで、パケットキャプチャのディスク書き込み (WTD) 速度が20 Gbpsから30 Gbpsに50%増加
- より優れたクラウドスケラビリティ、可視性、およびキャパシティ
- NetProfiler統合のパフォーマンス向上
- Oracle 19cに対応

Alluvio™ NetProfiler:

- フローキャパシティが毎分3,000万から4,000万フローに30%以上増大
- Google VPCおよびSD-WANに対応

Alluvio™ NetIM:

- ストリーミングテレメトリー、Cisco ACI、およびServiceNowをサポート

これらのツールすべてがチームに力を与え、ネットワークトラフィックの問題をより早く見つけて修正し、迅速なインシデント修正のためにワークフローを自動化し、クラウドやオンプレミスのインフラストラクチャ要素の総合的なデータ分析に簡単にアクセスできるようにします。その結果、使用する度に向上したデジタルエクスペリエンスを提供する、より安定したネットワークを実現できます。

さらに、完全に忠実な NPM の可視性は、より正確な AIOps (運用のための人工知能) モデルとオートメーション結果を推進します。AIOps は大量のクロスドメインデータを収集して集約し、最良の結果を得るために通常複数の分析テクニックを活用します。Alluvio™ NPM のデータソースは、正確な事象同定のために豊富で深いデータを提供します。

リバーベッドの SaaS ベースの一元化された観測性サービスである Alluvio IQ は、完全に忠実な Alluvio NPM と DEM のデータ、AIOps、およびインテリジェント自動化を活用してインシデント対応およびセキュリティフォレンジクスを高速化します。

運用のガバナンスとコンプライアンスを保証

今日の企業は、組織または政府のどちらが課したものを問わず、コンプライアンス要件に関して常に注視されています。メディアはコンプライアンス非遵守のアプリケーションやオペレーティングシステムのために生じた破滅的な企業の違反を頻りに報道しています。攻撃者は、これらの脆弱性をターゲットにしてネットワークに侵入し、費用がかかる、または修復不可能なダメージを引き起こします。実際に、上記図 1 の最近の Enterprise Strategy Group (ESG) による調査に示したように、IT プロフェッショナルは、この先 12 か月間にわたって自社組織において最もテクノロジー支出を押し上げるビジネスイニシアチブは何であるかを問われました。上位の回答の 1 つは規制順守の取り組みでした。コンプライアンス要件を満たすことでセキュリティ体制や運用効率を向上しようとしている場合、Alluvio NPM ポートフォリオはネットワークチームにコンプライアンスの準備が整った製品を提供し、アクセシビリティ、自動化、データ管理をサポートします。

コンプライアンスのための自動オーケストレーション

金融サービスやヘルスケアのような厳しく規制されている業界の組織は、政府規制の開発前に内部の規制ポリシーを導入しています。このコンプライアンスに対する配慮は、サードパーティベンダーにも及んでいます。ネットワーク製品ベンダーは、製品が組織または政府のコンプライアンス基準をサポートしていることを期待されています。自動オーケストレーションを使用すれば、IT チームは脅威に対抗し、テイクダウンし、NPM 製品を既知の安全な状態にシームレスに再デプロイすることができます。この機能は、ネットワーク内でコンプライアンスを達成して維持するために必要な監視およびデータ管理を実現します。

政府規制サポート

Alluvio NPM ポートフォリオは、[連邦情報処理標準 \(FIPS\)](#) や [第 508 条](#) のような [コンプライアンス要件](#) をサポートするために、常に製品を進化させています。

サイバー脅威に対するインテリジェントなセキュリティ方法を活用

Enterprise Strategy Group (ESG) の 2023 年度のテクノロジー費用に関する意識調査によると、IT プロフェッショナルの 65% が、他の領域と比べてサイバーセキュリティへの支出増加を予測しています。多くの NetOps チームと SecOps チームが、さまざまなベンダーのセキュリティソリューションやツールにそれぞれの予算を割り当てています。これは、IT チームが迅速にセキュリティ上の懸念を診断して解決するのを妨げるパッチワークシステムを生み出します。

Alluvio の NPM 製品は、データの収集、分析、検出における自動プロセスを提供しているため、チームは従来のパッチワークセキュリティツールでは見逃してしまうかもしれない潜在的なリスクを迅速に特定できます。ポートフォリオのセキュリティツールは、組織の既存の自動プロセスにシームレスに統合し、問題となるネットワークイベントのリスクや、それらのイベントが発生した場合の規模を軽減することにより、ビジネスレジリエンスを推進する堅固なセキュリティコンピテンシーを提供します。

セキュリティのための自動オーケストレーション

セキュリティ侵害が起こった場合、ハイブリッドネットワークは運用可能な状態を維持する必要があります。一方で、NetOps チームは多くの場合、攻撃を受けた際にネットワークのアップタイムを維持するのに苦労しています。これは、ネットワーク上に複数のデバイスやアプリケーションが存在し、それぞれをサポートする製品は、ネットワークが不正アクセスを受けた際に機能するよう装備されているとは限らないからです。Alluvio NPM の製品ポートフォリオは、自動オーケストレーションを介して運用およびプロビジョニングできます。自動オーケストレーションとは、手動による介入なしに、ハードウェアまたはバーチャルアプライアンスのアップデート、インストール、リセット、コンフィギュレーション、復元を行うことです。これは、ネットワークが外部ランサムウェア攻撃の影響を受けているか、内部の脅威による不正アクセスを受けているかなどの現在のセキュリティ状態にかかわらず、NPM データにアクセスし、ネットワークがエンドユーザーのために継続して動作することを確実にできます。

フォレンジックデータ

NPM ツールが提供するフォレンジックデータは、NetOps チームと SecOps チーム間のコミュニケーションとコラボレーションの優れたチャネルを構築します。Alluvio NPM と Alluvio IQ のインテリジェントフォレンジック分析は、NetOps と SecOps チームが脅威の特定を自動化し、将来のリスクを軽減できるようにします。

パワフルな異常検出

Alluvio の NPM 異常検出は、人工知能および機械学習 (AI/ML) 駆動のツールによってサポートされています。チームがセキュリティ問題をより迅速に見つけて修正できるように、根本原因を診断するためのデータ分析ワークフロープロセスを自動化し、加速化します。

完全に忠実なデータ

Alluvio NPM が提供する完全に忠実なデータは、サンプリングなしにすべてのパケット、フロー、デバイスメトリックスをキャプチャします。これは、異なるベンダーによる複数のツールを使用する不便さをなくして、ネットワーク全体で発生するセキュリティ問題を盲点なくキャッチできることを意味します。

Alluvio NPM はビジネスレジリエンスに欠かせない要素を提供

NetOps チームは、ハイブリッドネットワークの複雑さに大きな負担を感じていることがよくあります。ビジネスレジリエンスをネットワークの DNA に組み込むことで複雑さを軽減し、中断に直面してもチームが適応、革新、さらには拡大する能力を大幅に向上することができます。組織は、より優れたビジネスレジリエンスの重要性に気づき、それに応じて投資しています。実際に、プロジェクトの資金獲得に関する質問に対して、IT プロフェッショナルはビジネスレジリエンスの向上を主な考慮事項の 1 つに挙げました。

Alluvio NPM ポートフォリオは、パフォーマンス、コンプライアンス、セキュリティの 3 つの主な領域において、ハイブリッドネットワークを最適化することに焦点を当てています。3 つの柱それぞれが、よりレジリエントなネットワーク構築のカギとなります。パフォーマンスを最適化することにより、中断に直面した場合でも、整合性を保ったユーザーエクスペリエンスを提供できるようになります。より強固で適応力の高いセキュリティ方針を持つことは、サイバー攻撃の影響からシステムを保護し、修正するのに役立ちます。コンプライアンスを維持する能力は、高額な罰金を支払うことから組織を救います。脆弱なハイブリッドネットワークは災害の機会となりますが、これらの各領域にレジリエンスを構築することで、より優れたエンドツーエンドの可視性を提供し、チーム間コラボレーションを促進する意味のあるデータを利用できるようになり、NetOps チームのマインドセットを受け身の対応から先を見越した対応へとシフトできます。

ハイブリッドネットワークにビジネスレジリエンスを構築する準備はできましたか？

ネットワークパフォーマンス管理デモのスケジュール設定に関して、今すぐご相談ください。



リバーベッドはネットワークやアプリからエンドユーザーに至るまで豊富なテレメトリーを取りそろえた唯一の企業で、あらゆるインタラクションを明らかにした上で高速化します。これにより、組織はシームレスなデジタルエクスペリエンスを提供し、エンタープライズのパフォーマンスを向上させることができます。リバーベッドは業界最先端のソリューションを2つのポートフォリオで提供しています。リバーベッドのAlluvioは、差別化された統合オブザーバビリティのポートフォリオで、IT全般にわたってデータ、知見、アクションを統合します。これにより、お客様はシームレスで安全なデジタルエクスペリエンスを提供することができます。リバーベッドアクセラレーション (Riverbed Acceleration) は、高速性、俊敏性に優れた安全な高速化をあらゆるアプリ、あらゆるネットワーク、あらゆる場所のユーザーにお届けします。何千社にも上るパートナー、そしてフォーチュン100構成企業の95%を含む市場最先端のグローバルなお客様とともに、当社はあらゆるクリック、あらゆるデジタルエクスペリエンスを強化しています。リバーベッド。エクスペリエンスを強化。詳細については、jp.riverbed.comをご覧ください。MSHD-1096_Business-Resilience_WP_US_040323